

市民活動センター「元気通信」

生き生きいるま 人・まち・自然

〒358-0003 埼玉県入間市豊岡 4-2-2 TEL/04-2964-2511 FAX/04-2964-2519

Eメール/center@machisapo.com http://iruma-skcs.seesaa.net/

まちづくり勉強会がはじまりました。 = 次回は 11月29日 =

まちづくりを“もっと身近なものに”ということを目的に、まちづくり入門編としての勉強会が始まりました。8月30日（木）の第1回をスタートに、来年1月の第6回までのシリーズで開催されます。今年度のまちづくり勉強会は、まちサポのメンバーがそれぞれ参加しているまちづくりの体験などについて話題提供し、参加した皆さんと一緒に身近なまちづくりについて考えようというものです。

第1回：8月30日（木） 「はじめての市民活動①」

話題提供者：宇野藍子さん

古文書講座講師やパソコン教室のインストラクターの経験などの自己紹介、市民活動にはじめて参加したキッカケとまちサポでの活動体験について、若者の立場から話題提供がありました。この話題をもとに若者がどうしたら市民活動に参加できるか、初心者が市民活動団体を立ち上げるにはどうすればよいかなどについて、若い話題提供者に対して、まちづくりのベテランのみなさんからアドバイスやはげましがあり、活発な意見交換が行われました。



第2回：9月27日（木） 「私のまちづくり参加①」

話題提供者：大杉直行さん

平成16年“広報いるま”で「まちづくり推進組織準備会」のメンバー募集に応募し、採用されてから市民活動へのスタートをきった大杉さんは、その後高齢者福祉分野にも活動の場を広げ、介護相談員、認知症ケア専門士などの資格も取得して活動していること、また「シニアでまちづくり」や「市政を考える市民の会」を立ち上げるなど、幅広く活動を展開している様子について話されました。



参加者のみなさんもそれぞれの市民活動をはじめたキッカケについて体験を話すなど、積極的に自ら進んで会に飛び込んだ人、声を掛けられて参加するようになった人、家族の介護の体験をきっかけに参加した人など、様々な実例が報告されました。今後のまちづくり参加への呼びかけに役立ちそうな話題が満載で、大変参考になりました。

第3回：10月25日（木） 「私のまちづくり参加②」

話題提供者：人見友章さん（次ページへ続く）

人見さんは、市民活動を始めた経緯や市民活動の魅力等を自らの体験談について、『第1回「市民のいるま塾」で、講師から聞いた「教養とは人と人が仲良くなるためにあるものだ。学んでいたからあんな人と出会えた、こんなやり取りができたということを生きたのしみにできないものか」の言葉に感動しました。無芸な私にとって、「市民のいるま塾」の講座を受講したことが、まちづくりに参加するようにな

《コラム》

今年もイルミン庭園?に、『ゆず』がなりました。

収穫してロビーにおいています。

また、コミカフェも知名度が上がったのか、連日利用があります。





ったキッカケで、地域に大きな友達の輪ができました。「来た話・誘いは断わらない」の姿勢で、様々な活動に参加してきたのがよかったと思っています』と話しました。また、団塊の世代などの退職者が、人見さんと同じように地域デビューをするには何かキッカケになるものが必要ではないかということから「盛人式」の提案があった。具体例として、①市民と市の協働事業で毎年 3 月に市民会館で盛人式を開催、②65 歳になった人に市報・個人宛の通知で案内、③65 歳になったらこう変わるという生活情報の提供、④充実した中高年の生きがいづくり等講演会の開催、⑤市民団体による相談・会員募集コーナーの設置等の提案があり、これについて活発な意見交換があり大変盛り上がりしました。

◆◆◆今後のまちづくり勉強会(第4回以降)の日程◆◆◆

	日 程	タイトル	話題提供者
第4回	11月29日(木)	私のまちづくり参加③	石川和子
第5回	12月20日(木)	はじめての市民活動②	宇野藍子
第6回	1月31日(木)	私のまちづくり参加④	杉山若江

※いずれの回も、時間は午前10時～12時まで、会場はイルミン活動室2。参加申し込みは、市民活動センターまで(当日参加も可)

かがやく NPO へー 自立した市民活動への道ー 9月7日に開催されました

市民活動支援講座として、地域で活動している NPO のみなさんが活躍する上で参考となり、課題解決の糸口をめざす講演とワークショップが開催されました。

今回は多くの学校やマスコミでも取り上げられるなど注目を集めている NPO 法人放課後アフタースクール代表の平岩国泰氏を講師に迎えて、「放課後 NPO アフタースクール」の活動紹介をしていただき、情報発信、資金調達、地域とのネットワークづくりなどを中心に NPO 運営力アップのコツを伝授していただきました。参加者は 20 名ほどで、講演後のワークショップでは、各団体の参加者が自分たちの団体の運営力について記入したアクションシートをもとに、活発な意見交換が行われました。

平岩氏は、「放課後プログラム」を通じて地域、学校、企業の活性化を支援し、ホンモノの料理人、建築家、漫画家、音楽家、芸人など一流の人を講師に、ホンモノのモノづくりや遊びの体験を子供たちに提供し、自ら参加、ホンモノ、継続型、発表の場の 4 つを活動テーマにしていると、放課後アフタースクールの活動を詳しく紹介していただきました。また、NPO 活動とボランティア活動の違いや NPO の組織力強化のためには収入の分散・拡大と仲間を増やすこと、情報発信が運営力強化のポイントだと力説されました。



講演後のワークショップでは、収入、仲間の拡大、情報

発信の各項目について、自分たちの団体がしっかりと取り組んでいる所は○、もう一歩の所は△、取り組めていない所は×などアクションシートで確認、これらをもとに、講師からアドバイスをいただきながら、それぞれの活動について意見交換を行いました。今後の活動に直接役立ちそうなノウハウを学ぶことができた、研修講座後のアンケート結果から多くの参加者の高い評価が見てとれました。



講師 平岩国泰氏
NPO 法人放課後アフタースクール代表理事
96 年慶應義塾大学経済学部卒業、(株)丸井に入社、人事、経営企画などを担当。長女の誕生をきっかけに 2005 年 11 月に「放課後 NPO アフタースクール」の活動を開始、09 年 6 月 NPO 法人化。グッドデザイン賞(2 年連続)など各賞受賞。11 年会社を退職し NPO 活動に専念。

《コラム 2》豊水橋下流から霞川合流点で、入間川の右岸沿いを歩きながら水辺の植物観察、エビとりやサカナとりなどの川遊びを行う第 1 回～第 3 回の入間川川遊びシリーズが、河川の動植物に詳しい入間市環境アドバイザー・環境再生医の観察指導で行われました。いずれも早朝の 6 時 30 分から 2 時間ほどの川沿い散策と川遊びに、大人たちも童心に帰って楽しみました。第 2 回のは入り間ケーブルテレビで放映されました(入間川ビオトープネットワーク研究会主催)

